

## 第 30 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会学会賞 臨床部門

### Cefaclor による少量抗菌薬持続投与が乳幼児の腸内細菌叢におよぼす影響

赤川友布子（関西医科大学 小児科学講座）

この度は名誉ある小児泌尿器科学会・学術集会学会賞を賜り、誠にありがとうございます。入局当初から参加し勉強させていただいてきたこの学会で賞を頂くことができ、大変光栄に思います。選考いただいた先生方に厚く御礼申し上げます。

私は 2014 年に関西医科大学大学院に進学し、小児腸内細菌叢の研究に携わりながら小児腎泌尿器疾患の診療を行ってきました。2019 年には“ST 合剤による持続的少量抗菌薬予防投与（CAP）が乳幼児の腸内細菌叢に及ぼす影響”という演題で、ST 合剤による CAP が乳幼児腸内細菌叢の多様性を低下させず、fUTI の主要な起因菌である大腸菌などが属する Enterobacteriales 目の増殖を選択的に抑制することを報告させていただき、ST 合剤を使用した CAP の妥当性を腸内細菌叢の観点から報告し、学会賞を頂きました。その後、ST 合剤と並んで CAP に使用することも多いセフェム系抗菌薬について、乳幼児の腸内細菌叢におよぼす影響を明らかにすることを次の目的として研究を行ってまいりました。その結果驚くことに、セフェム系抗菌薬による CAP は腸内細菌叢の多様性を低下させ、腸内細菌叢の乱れを来すことが明らかとなりました。腸内細菌叢の観点からみた、CAP に使用する薬剤の妥当性についての研究を 2 回続けてご評価いただけたことを大変嬉しく思います。学会会場で先生方から貴重なご意見やご質問、励ましのお言葉を頂き、感謝いたしております。

本賞受賞を励みとして、今後はさらに腸内細菌叢に対するアプローチを通じた小児上部尿路感染症の発症予防法開発にも貢献できるよう、引き続き邁進してまいりたいと思います。今後とも先生方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後にこの場をお借りして、いつもご指導いただいている金子一成教授ならびに教室の先生方に心から御礼申し上げます。